

令和5年度盛岡ブランド表彰「もりおか暮らし物語賞」受賞者

○ 株式会社光原社

- ・ 代表者 代表取締役 川島 富三雄（かわしま とみお）氏
- ・ 活動期間等 大正13年（1924年）12月～現在に至る
- ・ 盛岡ブランドとの関わり 先人と文化の物語（盛岡ゆかりの人をキーパーソンとした情報の発信と伝統工芸品の振興）

・ 受賞理由等

宮沢賢治が生前に童話集「注文の多い料理店」を発刊した場所であり、資料室を設置するなど顕彰に努めるほか、南部鉄器や漆器など盛岡を代表する工芸品を数多く取り扱い、令和4年から開催されている「北のクラフトフェア」では審査員を務めるなど、盛岡の歴史と文化を築く一端を担ってきた。

長年にわたり、宮沢賢治をはじめとする盛岡ゆかりの人物をキーパーソンとした発信や、漆器やホームスパンなどの伝統工芸品の振興を通じ、まちの魅力向上に大きく寄与している。

○ 有限会社藤村仏具本店

- ・ 代表者 代表取締役 藤村 吉隆（ふじむら よしたか）氏
- ・ 活動期間等 文久3年（1863）12月～現在に至る
- ・ 盛岡ブランドとの関わり 暮らしと伝統の物語（山車人形製作技術の継承）
- ・ 受賞理由等

盛岡を代表する仏壇・仏具専門店として創業160余年の歴史を誇っており、彫りや塗りの技術を持つ職人により、市内のみならず市外の風流山車の人形製作及び修理修復を長年にわたり担ってきた。

市の指定無形民俗文化財である「盛岡八幡宮祭りの山車行事」に不可欠な山車人形を昔ながらの手法によりつくり続けており、盛岡の山車文化を支える職人の技を継承し、盛岡ならではの祭りの振興に大きく寄与している。

○ 紺屋町かいわい街並み協議会・紺屋町スタンプラリー実行委員会

- ・ 代表者 森 理彦（もり まさひこ）氏
- ・ 活動期間等 平成23年5月～現在に至る
- ・ 盛岡ブランドとの関わり 人と人を紡ぐ物語（交流と賑わいの創出）
- ・ 受賞理由等

平成23年に紺屋町界隈で初開催されたスタンプラリーは、中津川を中心とした街なかの路地を歩きながら、老舗店や伝統工芸店のほか、個性ある個人商店や飲食店、街並みを楽しむことができる機会を提供することで、参加者へ街を歩く楽しさを伝えながら、市民の豊かな生活を支えてきた「商都盛岡」の発展と、暮らしの中から生まれる盛岡の魅力の発信に大きく寄与している。

現在では、エリアは肴町、本町通、内丸界隈まで広がり、消しゴムはんこのオリジナルティや、スタンプを集めたくなる仕組みは他に類を見ないものとなっている。

○ これまでの「もりおか暮らし物語賞」受賞者

| 年度 | 氏名・団体名 | 推薦理由 |
|-----|---------------------|--|
| H19 | 阿部 利弥 | 祭り行事のブランド化(盛岡さんさ踊りの振興) |
| | 開運橋花壇クラブ | 身近な自然景観ブランド(川沿い景観の保全活用) |
| | 盛岡まち並み塾 | まちなみ景観ブランド(まちなみ保存活用の推進) |
| | 文化地層研究会 | 盛岡学(地域学)の推進 |
| | 盛岡市立高等学校放送部 | 広報宣伝とイベント展開(メディアの活用) |
| H20 | 有限会社白龍 | 食文化ブランドの推進(「めん都、盛岡」の推進, 特産品ブランドリーダー育成) |
| | 日本ハンギングバスケット協会岩手支部 | きれいなまちブランド(ハンギングバスケットの推進) |
| | きららな街盛岡を創る会 | もてなしの心(人情)の推進(きらら化粧室の設置) |
| | 大慈清水用水組合・青龍水組合 | 観光資源・川と水と湖のブランド振興(清水・湧水の保全活用) |
| | 神子田朝市 | 産業ブランド(市のブランド化) |
| H21 | 小松太鼓店(文政3年)・高松義夫太鼓店 | 盛岡さんさ踊りの振興 |
| | 畑中 美耶子 | 盛岡ことばの活用 |
| | 南部火消伝統保存会 | 盛岡山車の振興 |
| | 盛岡彫刻シンポジウム実行委員会 | 美術・工芸・デザインのまちづくり |
| H22 | 盛岡ふるさとガイドの会 | もてなしの心(人情)の推進(観光案内の充実) |
| | 中谷 眞也 | 盛岡ことばの活用 |
| | 盛岡河川漁業協同組合 | 観光資源・川と水と湖のブランド振興(中津川景観整備) |
| | 雫石川東部漁業協同組合 | 観光資源・川と水と湖のブランド振興(中津川景観整備) |
| H23 | 豊香園 | 桜の名所づくりの推進(石割桜の管理) |
| | 一ノ倉邸管理保存委員会 | まちなか観光地づくりの推進 |
| | 藤村 光雄 | 盛岡学(地域学)の推進 |
| | 岩洞湖漁業協同組合 | 観光資源・川と水と湖のブランド振興 |
| H24 | 鎌田 隆 | 文化くらしの継承 |
| | 中津川の水芭蕉を守る会 | 川沿い環境の保全 |
| | いわて生活協同組合 | まちなか観光地づくりの推進 |
| H25 | 盛岡市肴町商店街振興組合青年部4S会 | 商店街等の活性化 |
| | 株式会社みちのくあかね会 | 工芸ブランドの振興 |
| H26 | 有限会社 杜の都社 | 芸術文化のブランド |
| | 盛岡りんご推進協議会 | 農産物ブランドの推進 |
| | 材木町よ市実行委員会 | 市のブランド化 |
| H27 | 全日本わんこそば選手権実行委員会 | 「めん都、盛岡」の推進 |
| | 映画館通り街づくり協議会 | 映画の街の推進 |
| | 東京盛岡ふるさと会 | 盛岡と関わりのある人等をキーパーソンとした情報発信の強化 |

| 年度 | 氏名・団体名 | 推薦理由 |
|-----|--------------------------------------|-----------------------------|
| H28 | 国際啄木学会盛岡支部 | 石川啄木研究の推進, 啄木の顕彰と周知 |
| | (特非)いわてアートサポートセンター | 演劇のまちの発展 |
| | 南部鉄器協同組合青年部 | 南部鉄器の伝統技術の習得と魅力発信 |
| | 本町振興会 | 「さけの赤ちゃん放流会」を通じた観光と街づくり |
| | 小笠原 正治 | 手描きの映画看板による, 映画のまち盛岡の推進 |
| H29 | 御所湖の清流を守る会 | 湖畔及び流域の景観保全と観光資源としての活用 |
| | 時源 滯(じげん れい) | アートのまちの振興 |
| | 斎藤 五郎 | 盛岡に暮らす人物の魅力発信 |
| | 協同組合盛岡手づくり村 | 伝統工芸と観光の振興 |
| H30 | 有限会社福田パン | 盛岡の食文化の豊かさを広げ, 市民の郷土愛の醸成に寄与 |
| | 盛岡舟っこ流し協賛会 | 伝統文化の継承と振興 |
| | いしがきミュージックフェスティバル運営委員会 | 盛岡の新たな魅力の創造や, 知名度の向上に寄与 |
| | 盛岡さんさ踊り振興協議会 | 盛岡ならではの祭りの振興 |
| R1 | 有限会社小野染彩所(おののせんさいしょう) | 伝統工芸品の振興 |
| | 有限会社草紫堂(そうしどう) | 伝統工芸品の振興 |
| R2 | MTCAサポーターの会 | もてなしの心の推進 |
| | もりおかワカものプロジェクト | 鉦屋町のまちなみ保存活用の推進 |
| | ビクトリア盛岡友好協会 | 姉妹都市との交流の推進 |
| R3 | 巴染工株式会社(ともえせんこう) | 伝統工芸品の振興 |
| | 岩手中央農業協同組合 りんご部会 | 農産物ブランドの推進 |
| | 啄木祭実行委員会 | 石川啄木の顕彰と継承 |
| | 盛岡大学附属高等学校野球部 | スポーツのまち盛岡の推進 |
| R4 | 関口屋菓子舗 | 盛岡駄菓子の継承と振興 |
| | 新岩手農業協同組合 東部営農経済センター、 玉山特産物加工センター | 黒平豆の振興 |
| | 公益財団法人盛岡国際交流協会 | 国際交流の推進 |